

2015 JUA/EAU Resident Programme 参加報告

米 虫 良 允 (同愛記念病院)

この度、JUA/EAU Resident Programme の一員として、2015年3月20日から24日まで、スペインの首都マドリードで開催された30th Anniversary EAU Congressに参加させていただきました。以前、パリで行われた27th Annual EAU Congressに参加し、2度目のEAUへの参加でしたが、海外学会ということで、旅行の手続きなども含め、出発前から緊張と興奮の連続でした。

今回のプログラムでは、学会参加費・宿泊費が無料となる他、Opening CeremonyやResident Dinnerへの参加など、多くのイベントがあり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

滞在中は残念なことに天気恵まれず、雨が多く、とても寒かったのですが、そんな天気とは対称的に学会会場では、世界中から多くの泌尿器科医が集まり、様々な演題に関して真剣に議論をしよう、熱い雰囲気が充満しておりました。

JUA/EAU Joint Sessionや多くのPoster Session・Plenary Sessionなどで、世界中の泌尿器科医から様々な専門領域に関する、幅広い内容を聴くことができ、とても刺激を受けました。

ESU courseという教育コースも一般的な講演だけでなく、Hands-on trainingも多く、非常に幅広い分野のコースがありました。ただ、JUA/AUAの交換プログラムではIC/PG course 無料受講特典があるようですが、今回のプログラムでは、無料受講特典などはなく普通通りの受講料が必要であったため、そこまで多く受講できなかったのが残念でした。現在勤務している同愛記念病院では尿路結石に対するTULの症例が多いため、実臨床にフィードバックできるように尿路結石に関するコースを受講しました。TULだけではなく薬物療法・ESWL・PNLなど様々な知見が深まるとともに、活発な討論を目的にでき、大変勉強になりました。

また、日本では実際に見たことがないLive Surgeryも見ることができ、大変刺激を受けて興奮しました。da Vinci Xiの手術、ICGを使用したロボット腎部分切除術、shock pulseを使用したPCNLなど多くの新しい手術技術を見ることができて、とても勉強になりました。

Opening Ceremonyでは、スペイン伝統のフラメンコを間近で見ることができて、スペインの情熱を直に体験できる素敵な経験となりました。

Resident Dinnerでは、各国のResident達と交流ができたとともに、同じプログラムに参加した、竹中政史先生(藤田保健衛生大学)・田代康次郎先生(東京慈恵会医科大学)の二人と、美味しいお酒と食事を肴にして、親



著者、Opening Ceremony 会場にて



左から、田代先生(東京慈恵医科大学)、著者、竹中先生(藤田保健衛生大学)、Resident Dinner 会場にて

睦を深めることができよかったです。

今回、30th Anniversary EAU Congressに参加して、様々な勉強をさせていただいた中で、病棟管理・手術・外来などに追われる日々の中でも、広い世界を意識して、自身でも新たな視点・広い視野を持ちつつ、常に患者に対して最新の知見に基づいた医療を提供できるように努力をし続けなければならないと強く感じました。このような素晴らしい貴重な機会を与えてくださった、JUA/EAU両学会の関係者の皆様、ならびに御推薦いただいた本間之夫教授に心からの御礼を申し上げます。今後も多くの若手の先生方がこのプログラムを活用して、少しでもJUA/EAU両学会の発展の一助になることを願います。